

人類初！？

湯滝ライトアップ

実施しました！



8月2日（土）にビジターセンターのイベント「ナイトハイク&湯滝ライトアップ」を実施しました。

暗闇迫る中、湯滝観瀑台に到着、スタッフの掛け声とともに全員でカウントダウン 5！ 4！ 3！ 2！ 1…点灯！！！突如として純白に光り輝く湯滝が出現した瞬間、歓声が飛び交いました。昼間とは違う湯滝の大迫力に圧倒され、まさに日本初・世界初・いえいえ人類初の光景を参加者全員が目撃したのです。目が慣れてくると光の中には大量のミストが降り注いでいるのも目視できます。

感動のライトアップ後は漆黒の湯滝の森を探検。暗闇だからこそ見える動植物との出会いを楽しみつつ小滝でもライトアップを再現。わずか2時間ながら異世界を存分に堪能したイベントでした。

定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,000 円**

2024年3月号（No.156）～2025年12月号（No.163）

【発行】自然公園財団 日光支部

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

〔申し込み方法〕

ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

＼アドレスが変わりました／

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461（FAX：0288-62-2378）

2025年9月初旬発行 [次号 2025年12月初旬発行予定]

奥日光の自然情報誌

楓通信

2025年 No.162

9-11月号



竜頭ノ滝の紅葉

今号の特集

< 特集1 > 秋に見られる赤い実 ～あれは一体なんの実？～

< 特集2 > 『旅鳥』って知ってる？

ナナカマド



ナンテンに似た、まんまるで張りのある実をつけます。葉も真っ赤に紅葉するので、秋の奥日光を彩る重要な樹木でもあります。秋になると、外国人の方がナナカマドの木の下で記念撮影を楽しんでいる光景をよく見ます。

「7 回かまどに入れても燃え残るほどに丈夫」という説がありますが…？

秋

に見られる

赤い実

あれは一体なんの実？

カンボク



鳥たちの好みではないのか、冬になっても食べつくされずに実が残っていることが多いカンボク。熟した実はツヤツヤで大きく、陽があたるとキラキラ輝きます。塊になってミチッと実をつけるのが特徴。

それにしても、こんなに食べごたえがありそうなのにこの実を食べない動物たち。一体カンボクの何が気に入らないのか…不思議です（シブいらしい？）。

メギ



他の物と比べて細長い実をつけます。小さくて可愛い葉に紛れて、枝に無数の鋭いトゲが生えているのが特徴。あまり大きくない樹木なので夏は存在感が薄め？ですが、秋になると実も葉も真っ赤に染まり、目に留まりやすくなります。

このトゲの多さから「コトリトラズ」と呼ばれることも。確かに、この枝にとまるのは嫌ですね…。

マユミ



ハイキングコースを歩いていると、頭上にぶら下がるピンク色の実が！よく見ると割れているものもある！？マユミはピンク色の果実が熟して割れると、中から真っ赤な実（種）が現れます。カラフルな花が少なくなってしまう秋をちょっとだけ華やかにしてくれる、どこか愛らしい樹木です。この、ブ라운と釣り下がるように実がついているのが特徴です。

ツルウメモドキ



マユミと同様に、黄色い果実がはじけると中から赤い種子が出てきます。この鮮やかな色合いから人気が高く、よく道の駅でリースやドライフラワーとして販売されているのを見かけます。

名前の通りツル性の植物なので、他の樹木と比べると見分けが付きやすいかもしれません。木の高いところに絡みついていることが多いです。

旅たび鳥どり って知ってる？

「旅鳥」と呼ばれる鳥がいることをご存じでしょうか？「旅」と付くからには、さぞかしあちこちを飛び回っているのかと思いきや、実はちょっと違います。

旅鳥とは？

渡りをする鳥のことを「渡り鳥」と言いますが、実は「旅鳥」は、渡り鳥の一種なのです。日本で繁殖や越冬することを目的にやってくるのが夏鳥・冬鳥で、渡りの途中で日本に立ち寄るのが旅鳥。つまり、旅鳥にとって日本はゴールではなく、旅の中継地点なのです。そのため長居はせず、1、2 か月で去ってしまいます。見られる期間が短いため、目撃情報が出回ると、その姿を一目見ようと双眼鏡やカメラを携えたバードウォッチャーで賑わいます。

奥日光にやってくる旅鳥は右ページの4種が中心です。鳥の渡りは春と秋に行われますが奥日光で旅鳥が見られるのは主に秋。渡りのルートは大まかに決まっていて、鳥たちは代々引き継がれたルートを辿って移動します。奥日光は秋に南下する鳥たちのルート上にあるようです。つまり、飛行ルート上にあった奥日光が、鳥たちの立ち寄り所としてふさわしいと判断されたということ！鳥といえど、海を越える長距離の飛行は体力を消耗するため、中継地点の日本（奥日光）で休憩と栄養補給を行い、さらなる長旅へと備えるのです。



旅鳥おつかれ様・・・

鳥たちの多くは、繁殖や越冬に適した場所を求めて何百 km、何千 km もの距離を移動します。日本にやって来る渡り鳥の最長記録の1つはカモメの仲間で、約1万2千 km、南極大陸から北海道へ移動したとか！旅鳥は、小さな体で地球規模の移動を行うタフな鳥たちです。フィールドで出会えたら、彼らの労をねぎらい、旅の安全を願ってあげてください。

奥日光で見られる旅鳥

ノゴマ



茶色い体に白い眉と頬、小さいながら喉のルビー色が印象的な鳥です。大きさは16cm程度と、シジュウカラと同じくらい。この見た目から、かつてはノゴドリ（喉紅鳥）と呼ばれていたこともあるようです。

奥日光では、10月頃に見られることが多く、光徳周辺などでよく目撃されます。夏はロシアや中国、北海道で繁殖し、冬は東南アジアなどで越冬します。

マミチャジナイ



胸からお腹がオレンジ色と白で、背中が茶色。すごい名前ですが、「マミ」は眉、「チャ」は茶色、「ジナイ」は鳥のツグミ類を表しています。つまり「眉が目立つ茶色いツグミ類」という意味。

奥日光では10月ごろに見られることが多く、光徳周辺などで目撃されます。夏は中国北部やロシア東部で繁殖し、冬は東南アジアで越冬します。

ムギマキ



実は、キビタキやルリビタキと同じヒタキの仲間。

奥日光ではツルウメモドキの実をよく食べるようで、光徳でよく見られます。10月に光徳駐車場の奥に早朝から集まっている人たちは、この子を見るために集まったバードウォッチャーです。

夏はロシア東部や中国北部で繁殖し、冬は東南アジアや中国南部などで越冬します。

エゾビタキ



頭部から背中は黒っぽい茶色で、胸やお腹に縞模様が特徴の鳥です。サメビタキ、コサメビタキに似ていますが、胸の模様がハッキリしているのが本種です。木のてっぺんに止まり、飛んでいる虫をフライキャッチで捕らえる習性があります。

夏はシベリアなどで繁殖し、冬は東南アジア周辺で越冬します。10月頃、戦場ヶ原などで見られます。

ビジターセンターイベント

ゆせんがたけ ひとりでは勇気がいるルートへ！ 温泉ヶ岳と金精峠

10月4日（土）
8:30-16:00

金精峠から菅沼へ抜けるルートをご存じですか？
暗くて怖そうな道ですが、実は静かで特別感のあるルートです。温泉ヶ岳からの景色も良く、冒険感もありの盛りだくさんイベント。足場の悪い箇所が多数のため、登山に慣れた**健脚の方限定**です！※**関越交通のバス**を利用します

【ルート】日光湯元 VC ➡ 登山口➡金精峠➡温泉ヶ岳➡金精峠➡菅沼 ➡ 日光湯元 VC

参加費 5,000 円

※別途バス代 1,600 円（往復）必要



定員 10 名

対象：現地に集合できる **70 歳以下の健脚な方**
集合場所：日光湯元ビジターセンター

湯ノ湖へ注ぐ唯一の川「白根沢」を探検 白根沢 遡上物語

10月19日（日）
10:00-14:00

白根沢をジャブジャブ歩いて探検しよう！というイベント。長靴で問題ない難易度で「沢を歩く」というイメージです。湯元スキー場の敷地に出るので、スキー場もちょっと探検しちゃいます！ただし、道路が渋滞する時季なので**奥日光に前泊できる or 早朝に到着できる方限定**です！

【ルート】日光湯元 VC➡白根沢➡湯元スキー場➡日光湯元 VC ※**特別許可を得て実施**

参加費 4,000 円



定員 15 名

対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

ゼロから始める星空観察

10月25日（土）
19:30-20:30

標高が高く空気が澄んだ奥日光は、まさに天然のプラネタリウム！星に詳しいスタッフが、星空の見方を丁寧にお教えします。少し見方が分かると、星空を見上げるのが楽しくなりますよ♪ きっと、見える星の多さに驚くはず！

【開催場所】湯元温泉街周辺 ※**雨天時はビジターセンターでスライドレクチャーを行います**

参加費 1,000 円



対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

定員 20 名

自然の物だけで作る！ 木の実のクリスマスリース作り

- ①11/2（日）10:00-11:30
- ②11/2（日）14:00-15:30
- ③11/22（土）14:00-15:30
- ④11/23（日）10:00-11:30

木の实やドライフラワーなど、ほぼ天然の物だけで華やかなリースを作りましょう！接着剤にはボンドや細いワイヤーを使うので、小さなお子さんでも安心して制作できます◎ 昨年は老若男女さまざまなお客様に楽しんでいただきました♪

【開催場所】日光湯元ビジターセンター

1 リースにつき 2,500 円



対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

各回 6 組

お申込み先（自然公園財団日光支部）

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和 4 年～ 6 年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所（郵便番号含む）⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段